

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 7/21 第8号 文責 上田
学校教育目標 「心豊かに探究心をもち、未来へ歩み続ける生徒を育成する」

高雄中学校との交流について

令和3年4月の統合に向けて、生徒の交流が始まりました。

7月14日（火）に1年生は美術「土鈴」作りの陶芸教室で交流を行いました。高雄中学校の生徒は、少し緊張した表情で授業が始まりましたが、一緒に作業していくにつれ、生徒同士何気ない会話で少しずつ慣れてきた様子で、作品について話をしたり、学校の様子などを互いに話しながら、作品を作っていました。



2年生は、15日（水）合同球技大会「ドッヂボール」で交流を行いました。2年生は、昨年から校外学習等で一緒に活動していたこともあり、慣れている様子で、高雄中の生徒が分かれても、円陣を組んで掛け声をかけたりと違和感もなく、またゲームになると遠慮なくボールを当てるなど、楽しい雰囲気で取り組んでいました。後日、高雄中にも賞状をお渡しました。生徒の皆さんには、大変喜んでおられたそうです。



1年生 陶芸教室



2年生 球技大会

令和2年度 生徒総会

17日（金）令和2年度の生徒総会が行われました。

新型コロナウィルスの影響で、取組みのスタートが遅れるなか、生徒会本部役員をはじめ、各専門委員が短い期間で準備を進め、全校生徒の協力により今年度の活動方針、生徒会予算、専門委員会の目標などが承認されました。

今年度の生徒会本部スローガン「双ヶ丘に変革をもたらせ」のもと、生徒一人ひとりが主役となる活発な取組を築いてください。期待しています。

また来年度の統合に向けて、双ヶ丘中と高雄中では生徒会本部の名称や役員数を合わせるために、生徒会会則の改定を行いました。後期からは、生徒会執行部（会長、副会長、書記、会計）と評議会議長と各専門委員長（生活、体育、文芸、環境）を選挙でえらび、来年4月からは各担当2名の複数体制で活動を進めていくことになります。

あわせて、学校祭スローガン「つな 絆ならびいで進め 歴史に刻む双ヶ丘祭」に決定しました。

生徒会本部が「絆ぐ」をキーワードに、新型コロナウィルスの関係で例年とは違う今年度だけの学校祭を歴史に刻み、次の代に絆いでいきたいとの思いで、このスローガンに決定しました。夏休み明けから準備が始まります。生徒全員で盛り上げ、学校祭が成功するように頑張りましょう。

懇談会が始まります。

通常であれば20日（月）より夏休みに入っていたのですが、新型コロナウィルスの関係で夏休みが短縮され、今週22日（水）～31日（金）まで、懇談会が行われます。